# ジョイフル城北
# スマイル城北

令和７年度 学校だより
ジョイスマ
令和７年１０月１６日
熊本市立城北小学校
校長

## 有意義な縦割り（異学年）の活動！

私の小学生のころは、ボードゲームや将棋、囲碁などはありましたが、探検ごっこや虫取りなど外での遊びが中心です。そして、その場所で上級生や下級生が入り混じって遊ぶのが当たり前でした。異学年のいろいろな子どもたちが集まっての遊びです。仲よく遊ぶこともありましたが、もめることもありました。しかし、遊びの中で、上級生は年長者として下級生への対応を覚えていき、下級生は年上の上級生への敬意を学んでいきました。スーパーマリオやドラゴンクエストなど、家庭でテレビゲーム（コンピューターゲーム）が簡単にできるようになったのは、私が大学生のころでした。特にそのころ発売されたドラゴンクエストⅢは、ゲームソフトの恐喝事件まで起こり、社会問題にまでなりました。

さて、今の子どもたちはどうでしょうか。私の子どものころとは違い異学年との触れ合いや関係性が薄れていると感じます。コンピューターゲームやタブレットなどの電子機器が普及した現代においては、異学年の交流は間接的な関係はあっても、直接的な関係はなかなか難しいと思います。

そこで、城北小学校では、異学年での交流を計画的に取り組んでいます。まず、春の歓迎会や歓迎遠足での交流です。6年生は1年生とペアを組み、お世話をします。6年生は活動を通して、上級生としての自覚と優しさを学ぶことができ、城北小学校の最上級生という自負も育ちます。次に、縦割り班活動があります。城北小学校では、この活動をジョイスマ班活動と呼んでいます。1年生から6年生までを数名ずつ入れて約20人で一つの班を編成します。学校全体では17班作ります。活動内容は、グリーン活動、クリーン活動、交流遊び（写真上）、ボランティア活動などです。最後に、1年生や2年生が学習する生活科にも異学年の交流学習があります。例えば、1年生が来年度入学の園児に城北小学校を紹介する体験入学交流会、2年生がおもちゃの企画・準備・作成を行い1年生を招いて行う「おもちゃランド」（写真下）などです。

異学年の交流は紹介した活動だけでなく、運動会や委員会活動、地域の行事などでもあります。いろいろな交流活動を通して、異学年との交流を深め、よりよい人間関係を育んでいってほしいです。